

第8回

# 生ごみリサイクル交流集会 in 多摩 2016

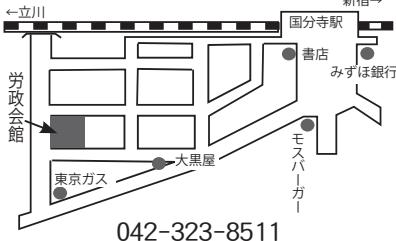
生ごみを地域で活かそう！  
地域の資源循環ネットワークをつくろう！



6月18日(土)  
13:30~16:30

国分寺労政会館  
■ 4階・第5会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



真如苑助成金事業

主催 NPO法人 ごみ・環境ビジョン21

「生ごみリサイクル交流集会実行委員会」\*

\*多摩地域各地で活動している市民で構成

NPO法人 ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012 東京都国分寺市本町2-19-9-7

TEL&FAX 042-328-6621 月曜日 13~17時

★事務所不在時の連絡先 080-6670-6641 (江川)  
080-1131-6205 (井上)

Eメール: gomikan@mtf.biglobe.ne.jp

生ごみ分別収集をしたり、計画を立てている行政が増えてきました。市民レベルで生ごみを資源活用している団体も地域に広がっています。

都市部での生ごみ堆肥化は難しいと考えられていますが技術革新も進み、ごみの資源化の実現への道すじが見えてきました。市民と行政が連携し、ネットワークを構築していくことで生ごみ資源循環の環を地域に広げていきましょう。

資料代：500円

申し込み不要。  
直接会場へどうぞ！

NPO

ダンボちゃんで  
広げよう、  
地域のつながりと  
循環の輪！



NPO法人 あしたや共働企画 理事  
長尾すみ江さん

多摩市のオリジナルダンボールコンポストの企画に関わり、ハンディのある仲間と共に、製造、販売、配達をしています。

今年度は推進母体のダンボくらぶとともに、多摩市と協働でワンコインで買えるキャンペーンを展開中。

小田原市

段ボールコンポスト  
による生ごみ堆肥化  
の推進 !!



小田原市環境部 環境政策課  
ごみ減量推進担当副課長  
石井 浩さん

配布体制を整えるのは「市」。「参加者へのフォローは生ごみクラブ」。基材づくりは「ありんこホーム」。

そんな3者の協力体制のもと、7年間で約5千世帯の参加者を集め、さらに企業や学校との協力、近隣の市町にも広げています。

千葉市

生ごみ分別収集  
特別地区事業



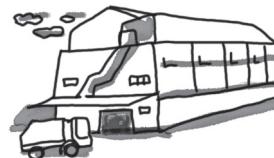
千葉市環境局 資源循環部  
廃棄物対策課主査  
中野 保さん

焼却ごみの4割以上を占める生ごみの減量・再資源化を推進するため、生ごみ分別収集特別地区事業を実施しています。

平成19年度から4地区2,760世帯を対象に家庭から出る生ごみを分別収集し、民間施設を活用してバイオガス化処理を行っています。

事業者

ほぼ全量廃棄物で  
人工軽量土壤を製品化！



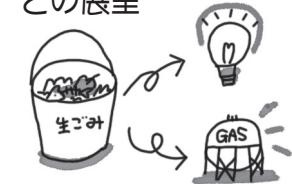
比留間運送(株) 副社長  
比留間 宏明さん

動植物性残渣や伐採樹木チップ、外壁材の軽量発泡コンクリート等をリサイクルし、人工軽量土壤を製造しています。

屋上緑化(歌舞伎座、東京駅八重洲口ほか)に使われ、ヒートアイランド現象の緩和に貢献しています。

事業者

生ごみを原料とした  
エネルギー供給事業と  
その展望



バイオエナジー(株) 代表取締役  
岸本悦也さん

生ごみは今や貴重なバイオマス資源です。バイオマスエネルギーによる「食の循環」、新たな技術開発による市民、行政、事業者が一体となった「地産地消で低炭素な街づくり」を目指します。